

アイヌ施策推進地域計画 中間目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	(中間) 目標年度
豊富町	豊富町アイヌ施策推進地域計画	令和5年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における (中間) 目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
①アイヌラッピングワゴン利用者数	1,300 人/年	555 人/年	42.7%	
②生活館利用者数	200 人/年	471 人/年	235.5%	
③学習塾利用者数	30 人/年	43 人/年	143.3%	

アイヌ施策推進地域計画における (中間) 目標	達成状況	備考
①アイヌラッピングワゴン利用者数	新型コロナウイルス感染症による制限が解除されたことにより、利用の回復を見込んでいたものの、依然として、従前の観光客数に回復していないほか、感染防止対策による外出抑制を継続している住民もいることから、目標値達成には至らなかった。	
②生活館利用者数	目標値を達成した。	
③学習塾利用者数	目標値を達成した。	

(コメント)
①新型コロナウイルス感染症が5類へと移行され制限が解除されたことにより、地域住民や観光客等の利用の回復を見込んでいたものの、依然として、観光客数は従前の7割程度にしか回復していないほか、地域住民における高齢者等は感染防止対策による外出抑制を継続している者もいることから、目標値の達成には至らなかった。
②新型コロナウイルス感染症の影響により、各種行事の中止など利用件数は減少したものの目標値を達成することができた。
③塾生一人ひとりが自らの学習課題と向き合い、積極的に楽しみながら学習に取り組んでいる。また、塾生同士で解決策を考えたり、相談をしたりするなかで、より一層理解が深まり学習に対する意欲の向上が見られ目標値を達成することができた。

2. (中間) 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>①JRからの乗り継ぎを考慮した時刻改定や、高齢者の乗り降りに配慮した介助支援等を行い、利便性の向上を図っている。</p> <p>②令和5年度までに、建て替えに係る地質・測量調査及び基本実施設計の各業務を実施し、令和5年度には本体工事を実施し、令和6年1月に竣工した。また、地域の歴史に触れることができる書籍や写真展示などを整備し、令和6年度は外構工事及び旧生活館の解体工事を実施予定としている。</p> <p>③アイヌ子弟をはじめとした町内の児童・生徒を対象とした公設学習塾を開設し、学習の基礎・基本の定着、学習に向かうことの習慣づけ、学力全体の底上げを目指すとともに、地域の方々との関わりの中で学ぶことにより、ふるさとへの愛着心を育み、豊富町の将来を担う人材を育成するため、学習塾補助員(地域の方・高校生・近隣大学との連携を図りながら)を任用し、児童・生徒の学習支援を行った。</p> <p>塾生数 R3 49名、R4 50名(学習会参加者も含む)、R5 43名</p>	<p>豊富町</p>
<p>事業の効果</p>	
<p>①時刻改定や乗降時の介助支援を行うことで、地域住民の生活交通基盤の確保及び利用者の利便性の向上を図ることができた。また、日常的にアイヌ文様ラッピングワゴンを運行することで、アイヌ文化への理解促進や普及振興を図ることができた。</p> <p>②耐震性に不安のあった老朽施設から、新しく機能的な施設に建て替えることにより、豊富アイヌ協会及び地域の拠点施設として供用を開始することができた。</p> <p>③児童生徒一人ひとりが自らの学習課題と向き合い、積極的に楽しみながら学習に取り組んでいる。また、塾生同士で学び合うことで、学習に対する意欲の向上が見られ目標値を達成した。また、ふるさとについて学ぶ機会を通して、次代のまちを担う子どもたちの成長・人材育成につながっている。</p>	

3. 今後の方針等

<p>(コメント)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標値達成には至らなかった事業もあるが、今後も引き続き本計画に基づく事業について、豊富アイヌ協会及び関係機関とも連携し、目標達成に向けてアイヌ文化への理解促進及び普及振興を図るため各事業を継続的に推進する。</p>
